

学校教育目標	夢いっぱい ふるさと 豊栄小学校	経営理念	本校の使命 (Mission) 1. 5年・10年先の未来を思い描き、1年後、どんな自分になりたいのか(夢)に向かい、何をしていくのか(目標)をもち、自ら課題を発見し、学ぶとともに、社会と協働して解決しようとする児童の育成 目指す学校像 (Vision) 1. 夢の実現のために、目標に向かって努力する児童を支援し、意欲的・積極的に活動する教職員集団の育成。(一人一人の児童に寄り添う) 2. 生活科・総合的な学習の時間等を中心とした横断的なカリキュラム・マネジメントによる、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指し、児童の学力・教職員の指導力の向上(探究的な学びとICTの利活用) 3. 社会に関わった教育課程の実現のために、コミュニティ・スクール及び小中一貫教育を展開し、保護者・地域・関連機関との連携を図り、信頼される学校づくりの推進(地域の魅力発信)
--------	------------------	------	--

評価計画					自己評価				改善方針			
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	改善方針
							9月	1月				
確かな学力	1	基礎・基本の定着を図り、かわり合いながら自ら学ぶ児童を育成する。	児童実態に基づいて学力の定着・向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律を徹底させる。 わくわくタイム(教職員の話聞き取る力)、オトタイム(火…読み語りと学力補充、金…ICTスキルアップ)、くんくんタイム(管理日教時間算学力補充)に取り組む。 児童の課題に応じた個への支援を図る。 	・国語科・算数科における単元末テストの平均点80点以上の児童を80%以上にする。	80%						
			主体的・協働的に取り組む児童を育成するための授業改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活科・総合的な学習の時間において自らの課題を追究する探究的な学習を展開する。 	・生活科・総合的な学習の時間に主体的・協働的に取り組む児童の意識調査において肯定的な割合を90%以上にする。	90%						
			ICTを効果的に活用し、個別最適な学びを工夫する。	・ICTを授業・学級活動・校務等に効果的に活用できる教職員の割合を80%以上にする。	80%							
豊かな心	2	ふるさとに愛着をもち、夢を実現しようとする児童を育成する。	東広島スタンダードを定着させる。(挨拶と言葉遣いを重点)	<ul style="list-style-type: none"> 生活目標で「東広島スタンダード」4項目に取り組ませる。 継続的で段階的な挨拶と言葉遣いの指導を学校全体で行う。 	・東広島スタンダード4項目のうち自己評定で3つ以上達成する児童の割合を80%以上にする。	80%						
			自分や友達、ふるさとを大切に育てる児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童(自分・友達)のよさや達成感・可能性を記入するカード、発表等の取組を行う。 	・「自分にはよいところがある。」の項目と「友達・ふるさとを大切に感じる。」の項目の肯定的回答の平均を90%以上にする。(児童アンケート)	90%						
健やかな体	3	楽しみながら運動能力を高め、心身ともに健康な児童を育成する。	体力の増進と運動能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 業前体育や体育科授業、ロング昼休憩を活用し、体力づくりをする。 	・N1(連続縄跳び)を達成する児童を65%以上にする。	65%						
			健康の保持増進への意識を高め、校外での生活力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 廊下・階段歩行を安全に行わせ、給食安全(手洗い・マナー等)を徹底する。 	・「廊下・階段の安全歩行」「衛生で安全な食事」に関して習慣化できた児童を90%以上にする。	90%						
信頼される学校	4	保護者・地域・関係機関に信頼される学校づくりを行う。	児童の活躍する場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 各種通信や映像の配信、メディアへの投稿等を通じて、児童の活躍する姿や作品を発信する。 	・保護者アンケートによる肯定的評価の割合を90%以上にする。	90%						
			働き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間の縮減へ向け、業務改善を推進させ、児童に向き合う時間を確保する。 	・教職員アンケート「子供と向き合う時間の確保」の肯定的評価の割合を95%以上にする。	95%						

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価
 4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
 2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価
 A...とても適切